

# 国立研究開発法人国立環境研究所運営費交付金 (うち、衛星関連事業経費)



【令和4年度予算(案) 16,387百万円の内数(16,514百万円の内数)】

【令和3年度補正予算額 1,618百万円の内数】

「いぶき(GOSAT)シリーズ」から送られるデータを処理、各国の政府機関・研究者等に提供することにより2050年カーボンニュートラルやパリ協定/グローバルストックテイクに貢献します。

## 1. 事業目的

- ① 「いぶき」(GOSAT)シリーズの観測データから温室効果ガスの濃度等の高次プロダクトを定常的に作成する。
- ② 作成された「いぶき」(GOSAT)シリーズのプロダクトの長期保存や各国のインベントリ担当者/研究者への提供を行う。

## 2. 事業内容

温室効果ガス観測技術衛星(いぶき、GOSAT)シリーズは、環境省・宇宙航空研究開発機構(JAXA)・国立環境研究所(NIES)の共同プロジェクトです。1号機(平成21年打上げ)・2号機(平成30年打上げ)の12年以上にわたる地球全体の温室効果ガスデータは各国の温室効果ガス排出量の検証などにも用いられており、我が国の2050年カーボンニュートラルやパリ協定に対する重要な貢献となっています。

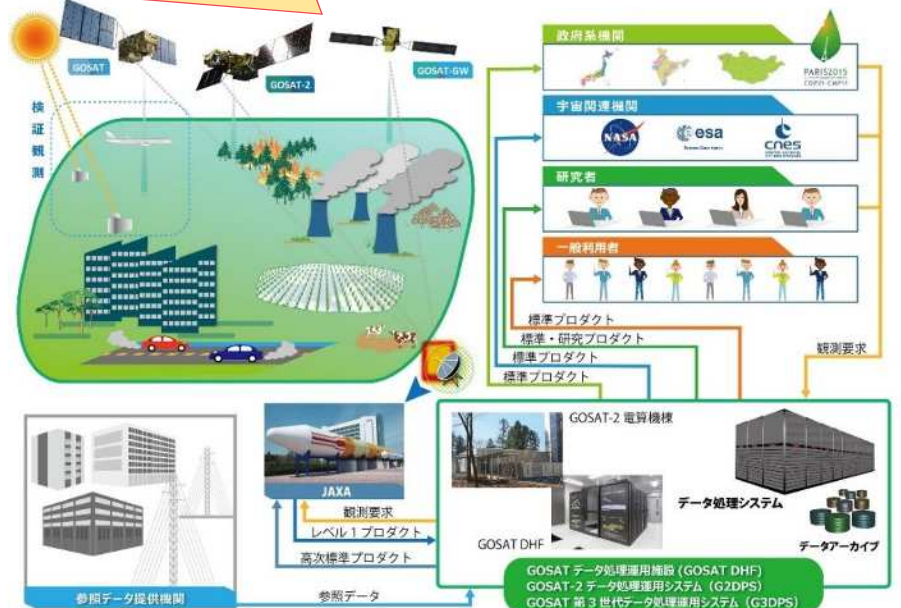
本事業では「いぶき」シリーズのデータから温室効果ガスの濃度などのプロダクトを定常的に作成し、各国の担当者・研究者に提供するための地上データ処理システムの開発や運用を行います。特に令和4年度には令和5年度打上げ予定の3号機のデータ処理システムの製造や一部の計算機設備の導入などを、1号機・2号機用システムの定常的な運用とその維持管理などと合わせて行います。

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 運営費交付金
- 交付先 国立環境研究所
- 実施期間 平成16年度～

## 4. 事業イメージ

⑤ 各国の政府機関や研究者が国別排出量の検証や排出量削減状況のモニタリングに活用



- ① JAXAがレベル1プロダクト作成
- ② 国環研が①から温室効果ガスの濃度などを算出
- ③ 国環研が地上・航空機観測などを用いた精度検証
- ④ 国環研が高次プロダクトとして各国の政府機関や研究者などに提供

お問合せ先： 環境省大臣官房総合政策課環境研究技術室 電話：03-5521-8238